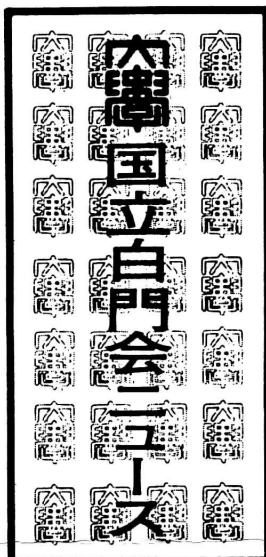


(1)



第15号

国立市富士見台1-1-201

村田 亘 75-2020

印刷

真美巧芸 37-2536

ふたたびの 北京行

市橋 千鶴子



秋も爛けた昭和六一年一月二日から月末まで一週間、宇都宮徳馬氏を団長とする日中友好訪中代表団の一員として、私はふたたび中国を訪れる機会を得ました。

これは日中友好協会のお招きで、日中友好協会の主要各分野から代表が選ばれて訪中するもので、法曹界からは私が推薦をうけて参加することとなったものです。

丁度三年前、婦人法律家代表団の団長として中国の法律家たちと両国の法制度について意見交換をするなかで、日中友好親善を深めた北京、西安、上海がこの度の訪問先であり、さらにかねて憧れの地

の桂林訪問が日程に加えられていました。

前泊した日航成田ホテルでの結団式で、副団長は衆議院議員松谷一夫氏、松山バレエ団団長清水正夫氏、秘書長は西堀正司氏と、何れも日中友好協会名誉会長宇都宮徳馬氏を補佐する立場の日中友好関係の錚々たる実力者が顔を揃え、参加者としては、読売新聞事業本部次長小川一成氏、同編集局文化部長杉林昇氏、日本航空常勤顧問野原克也氏など総勢一四名の、各界で活躍する実に多彩な団員で構成されている旨を紹介されました。

二一日午前一〇時、成田発のJL七八一便で北京までの四時間を、私は偶然隣合せた国立ご在住の杉林氏とワイングラスを傾けながら話しこんでいるうちに早くも北京空港

に着陸し、懐しい顔振れも見える多数の関係者の出迎えを受けて、文字通りの北京秋天のもと車を走らせ、やがて私どもは由緒ある北京飯店東館に旅装をとききました。

翌二二日夕刻一行は、中日友好協会名誉会長王震氏のお招きで釣魚台国賓館に赴きましたが、ここは元離宮で、門を入ると木立深く車は幾重にも折れてやがて洋風の重厚な建物に招じられ、そこで王震氏や、つい先ごろ会長に昇格就任された孫平化氏の出迎えを受け、次々と固い握手が交わされました。

招じられた大広間は、孫会長のご説明によると、私どもの訪中の数日前訪れられたエリザベス英女王歓迎のレセプションもここで行われた由で、明るいシャンデリヤのもと王震名誉会長の歓迎の辞は中国語の抑揚のせいばかりでなく実に力強く、いささかの年令の衰えも見せぬ様子で、わが宇都宮団長のおだやかな謝辞と温容とは、よい対象とお見受けしました。

やがて宴会場では、かつて口にしたこともない山海の珍味の王宮料理が次々と運ばれて歓談の愉しさに時を忘れるひとときでしたが、宴爛けて王震名誉会長は、先年人民大会堂での会見のあと、同氏の長寿を祝って謡曲「鶴亀」を吟じた私のことをよく覚えて

おられ、ご所望によりこの度も王震ご夫妻の弥栄を祝って高砂の「四海波」を披露させて頂きました。

二四日私どもは、朝靄も晴れた天安門広場の人民大会堂に車を急がせました。

正面玄関左側の迎賓室に入ると、もうTVフラッシュを浴びながら笑みこぼれるこの国第一の実力者中国共産党中央顧問委員会主任鄧小平氏が、宇都宮団長以下一行を次々と握手で出迎えて下さり、その厚い肩で温かく大きなお手を

差しのべられたときは正直感動し、お招き有難うございましたと述べつつ夢中で握手にお応えしました。

記念撮影のあと、鄧小平氏と宇都宮団長との会談は一時間余にもわたり、その間中国の経済発展への抱負、台湾問題に関する中国の意向、日本の経済面での協力要請などを艶やかな笑顔とよく通るお声で実に闊達に述べられ、そのお言葉の端々に、流石その昔フランス留学で身に備えられたたくまぬ話術はまことに魅

昭和62年度 総会のご案内

下記により第10回定時総会を開催いたします。

万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

なお、会場等の都合上、同封のハガキを6月4日(木)までに必ずご返送方よろしくお願いいたします。

当日は百周年記念映画を上映します。上映時間は午後3時から約30分の予定です。

記

- 1.日時 6月14日(日) 午後3時までにご参集のこと
- 2.場所 国立デパート2階 (国立商協ビル)
- 3.懇親会費 3,000円

当日ご持参下さい。





人民大会堂迎賓室にて 中国共産党中央顧問委員会主任・鄧小平氏とともに 昭和61年10月24日

力的で自信に溢れるものがあ
り、第一級の指導者として堂
々たるご様子でした。

この会談の様子は当夜のニ
ュースで中国全土に放映され
またこの席で始めて公式発表
された中国側の日本の皇室招
待の意向は、早速わが国の新
聞にも報道されていました。

北京で五泊し、公式日程を
すべて終えた一行は二五日空
路西安に飛び、ここでは改装
成ったばかりの人民大廈に三
泊して精力的に文化遺跡を訪
ねました。

一行には、日中文化交流の
実績あつた読売新聞社の文化
部長と事業本部次長がその目
的に参加されていた事情もあ
つて、各地で博物館や文化遺
跡の特別公開の恩典をうけ、
ことに最終日にはシルクロー
ドを西方に赴くこと二時間、
乾陵をはじめ則天武后によつ
て殺戮された皇子、皇女の未
公開の噴墓、つまり永泰公主、
懿德太子、章懷太子各墓陵へ
の案内を受け、高松塚古墳ど
ころではなく、いまになほ青
丹の彩色豊かにのこる唐代美
女群などの貴重な壁画をふん
だんに見学させて貰う幸せを
得ました。

西安では陝西省博物館(碑
林)、秦始皇帝兵馬俑、華清
池、大雁塔など曾遊の地のほ
か咸陽博物館、興慶公園、半
坡遺跡、長安樂舞劇団などを
新たに見学しましたが、何よ

りも西安は、教年来の改修工
事が漸く完成した城門、城壁、
大鐘樓などによって古の長安
の面影を確実に甦らせ、私ど
もの郷愁に確実に応える母懐
のようなものをもつ土地柄と
して、幾度訪れても倦きるこ
とのない底知れぬ魅力をたた
える歴史の都であることは確
かです。

待望の桂林でも、一泊なが
ら漓江下りの天下の奇景を満
喫することができ、二泊した
上海では、先ごろ構想成った
ばかりの二一世紀に向けての
大上海都市計画についての座
談会を半日費して行うなど、
充実した日程をすべてこなし
終えました。

上海の街中を歩くと、未だ
に租界の名残りの建物がその
まま利用されており、西欧風
のプラタナスの並木道が市内
にもそして一部高速道路を除
いて空港まで続いていて、一
種独特の異国情緒を醸しだし
ています。

しかし、各街区ですでに大
掛りな再開発事業が着手され
ており、これらの歴史的遺産
は早晩惜しげもなく撤去され
やがて上海市は目に見えて変
貌してゆくことでしょう。

私は、CAジャンボ機が見
る見るうちに赤土の大地を離
れるとき、上海上空に深く垂
れこめるスモッグを見て愕然
としました。
わが国が世界有数の経済大

国となる過程において負わさ
れたあの悲惨な各種公害禍を、
大切な友人たちに再び味わせ
てはならない、経済発展を急
ぐあまりに忘れがちな公害防
止の心構えやその知恵を隣人
たちに伝達することを忘れて
はならないと、私はそのこと
ばかりを考えながら、清澄な
秋空のもとに次々と手にとる
ように眺められる阿蘇山や瀬
戸の海、やがて琵琶湖や富士
山と、秋たける美しい日本の
自然が一万米の上空から明確
に見透せる素晴らしさをこの
上ない倅せと胸にかみしめつ
つ何時しか成田空港に着陸し、
この得ること大であった思い
出深い旅を終えたのです。

会費納入のお願い

年会費は白門会ニュースや名簿作成などの財源
ですので、同封の郵便振替用紙で納入をお願いし
ます。又、総会当日ご持参して下さい結構で
す。

年会費 2,000円

統一地方選挙

谷・井上両氏当選!!



井上正博氏 谷 清氏

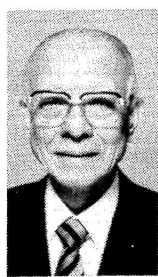
今年は統一地方選挙の年であり、国立市でも市長・市議会議員の改選が行なわれました。当白門会からも、現職の谷清市長が三選、井上正博市議が再選されました。両氏の益々のご活躍を期待します。

学員会百周年

企画委員に選任



市橋先生



村田会長

学員会創立百周年を迎えて、記念事業が企画されています。その企画が円滑に行なわれる様に、学員会創立百周年記念

事業企画委員会が設置されました。その委員20名の内に

当白門会の顧問市橋千鶴子先生と、村田亘会長が選任されました。重責と思われませんが、両先生のご活躍を期待します。

新たに二支部加入

中央大学学員会三多摩地区連絡協議会に、新たに町田支部と青梅西多摩支部が加入しました。これで、八王子・立川・三多摩・日野・国立支部と、合わせて七支部となりました。

初参加

さくらフェスティバル

例年より九度も低い四月十二日(日)、NHK学園向かいの谷保第三公園で、今年第十回目を迎える「くにたち」さくらフェスティバルが開かれた。三年前から、風間・新倉両君が実行委員として裏方を手伝ってきたが、今回は白門会として正式参加が決まり、私も朝九時半から開店準備に加わった。冷え込みもきびしく風も吹いて、四時間位立ち通しでの売り子も疲れたが、そこは仲間同志で、村田会長の励ましもあり、同窓の谷市長夫人の差し入れも...というわけで、山崎・久保田・堀田・小林・関の諸兄に、紅一点の平本さんも大きな声でセー

六一年度活動報告

昭和六一年

- 四・二十(日) 第九回定時総会 (国立商協ホール)
- 五・十八(日) 秩父路探訪散策
- 六・十五(日) あれこれ考える会(ダイヤパレス集会所)
- 七・十九(土) 納涼懇談会 (一水園)
- 十・十八(土) 白樺湖・勝沼下ライブ&ワイナリー見学。
- 十一・三(月) 市民まつり参加 (無料法律相談及びバザー (大学通り))

十一・九(日) あれこれ考える会(ダイヤパレス集会所)

十一・十六(日) 囲碁大会 (ダイヤパレス集会所)

昭和六二年

一・二四(土) 新年会(信濃路)

※役員会等は省略。

事業部

一、恒例となった秋の市民まつりに参加。皆様から多くの品々を出品して頂き、そのバザーと無料相談コーナーを設けました。相談コーナーでは法律・税務・不動産に関する二十件余りの難件を次の各氏によりアドバイスされ、市民から大変よろこばれました。 弁護士 石川 正明氏 溝口 敬人氏 税理士 宍戸 勇之氏 宅地建物取引主任 久保田 利雄氏

二、あれこれ考える会

第三回あれこれ考える会を六月十五日(日)に、第四回を

ルズに頑張ってくれた。その成果は上々で、(株)せきや提供の世界有名ブランドのノベルティ(例えば、カティサールの皿・ホワイトホースのカップ・ウインドブレイカー...)が飛びように売れて、出店したがいがあったというもの。 まずはおめでとう!!と、実行委員会に詰める風間・新倉両君や、隣りで夫婦で活躍の丸本君も喜んでくれたことだ。(能味寿哉)

十一月九日(日)にダイヤパレス集会所で行ないました。教育問題や行政全般について色々話題が山積で、市民全員に聞いてほしい問題ばかりでした。

厚生部

一、春・夏・秋に親睦会を実施。春は秩父路を採ねて長瀬溪谷、三峰神社等を散策。出席者二五名。夏は野猿街道沿の一水園で納涼懇親会、出席者十九名。秋は霧ヶ峰・白樺湖と自然に触れ、下諏訪神社から勝沼へ出てワイナリー見学。出席者十八名。

二、囲碁大会。

三、新年会、出席者三二名。

組織部

一、活動の基礎となる学員各位の近況を把握するため、前回五八年度に作成してから二年が経過しているのを、新卒業生を加えて会員名簿を作成。二、組織強化、会の活性化をめざし、地区連絡部会を開催。再編成のため組織部会を開催。三、会員名簿の補充。

広報部

一、白門ニュース第十三・十四号の発行。 二、記事取材(親睦会・市民祭等) 三、学員時報への投稿(白樺湖・勝沼ワイナリー見学)



S62. 4. 12

昭和62年度

国立白門会予算案

自 昭和62年4月1日
至 昭和63年3月31日

	科 目	摘 要	金 額
収入の部	年会費	100名×2,000円	200,000
	学会会交付金	2名×15,000円	30,000
	広告料収入		20,000
	總會々費	3,000円×30名	90,000
	寄付・祝金		100,000
	特別収入	バザー	200,000
	前期繰越金		59,033
合 計		699,033	
支出の部	印刷費	ニュース2回×42,000円 ハカキ 350名×60円	110,000
	通信費	ニュース・会員連絡等	50,000
	会議費	役員会会議費	70,000
	總會費		90,000
	交際費	学会会總會等	110,000
	事務用品費		10,000
	親睦行事費		30,000
	雑費	写真等	79,000
	予備費	10周年、名簿作成準備	150,033
	合 計		699,033

昭和61年度

国立白門会決算書

自 昭和61年4月1日
至 昭和62年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
年会費	196,000	200,000	印刷費	187,960	240,000
学会会交付金	15,000	30,000	通信費	72,000	50,000
広告料収入	11,000	30,000	会議費	61,134	70,000
總會々費	75,000	90,000	總會費用	154,560	90,000
寄付・祝金	243,500	100,000	交際費	94,000	90,000
100周年記念 募金運付金	37,000	0	事務用品費	4,890	10,000
親睦行事会費	363,500	0	備品費	78,000	0
特別収入	152,371	50,000	親睦行事費	412,585	30,000
雑収入	8,195	0	雑費	82,195	20,000
前期繰越金	104,791	104,791	予備費	0	4,791
			次期繰越金	59,033	—
合 計	1,206,357	604,791	合 計	1,206,357	604,791

会計 堀田 勲 ⑨ 会計監査 宍戸 勇之 ⑩
" 二 宮 之 ⑩

六二年度活動予定

事業部

一、さくらフェスティバルに
初参加。四月十二日(日)、富
士見台二丁目の谷保第三公園
とさくら通りで開催された。

関喜一氏から大変な出品を
頂き、久保田利雄氏出品の日
高コンブと併せてバザーを行
なった。生憎くの天気であつ
たが、日高コンブの一部を残
し全品売りつくしました。

二、あれこれ考える会

今年には市長・市議会議員
の選挙の年であり市民の国立市
への関心が一段と高まっている
と思えます。この考える会
も更に発展致した次のよう
な計画を考えております。

(一)街の行政や、市民のあり
方などを踏まえて、これか
らの考える会の運営等につ
いて会員諸氏と話し合う。
(二)前の結果に基づき市内に
八十余の市民団体がありま
すが、その中から数団体を
選び、合同の「街を考える
会(仮称)」を開く。又は、
適切な講師による講演会を
考えています。

三、市民まつりへの参加

市民まつりが多摩の名物行
事となった今日、当白門会も
積極的に参加。日常用品の
バザーや法律・税務・不動産
の無料相談を行ないます。他
に皆様の何か良いアイデアが
あれば、それらも加えて更に

市民まつりを盛り上げたいと
考えております。

厚生部

一、春と秋に親睦会
春は三多摩近郊で、ゆとり
ある行程を企画しています。

秋は多少遠くなりますが、
長野県下方面を計画していま
す(詳細は第十六号)。

二、囲碁大会

三、新年会

組織部

一、本年は会の活性化、組織
の強化を重点目標にかかげ、
役員充実・地区連絡員の活
用を図る。

二、多くの会員に、会員とし
ての自覚を、参加意識の高揚
を図るため、若い世代の会員
に出来るだけ多くの方に役割
の分担をお願いし、会の活性
化を図る。

広報部

一、白門ニュース第十五・十
六号の発行。
二、記事取材。

六二年度活動報告の内、春
の秩父路と納涼懇親会は第十
四号に記事を掲載したしまの
で、ここでは秋の白樺湖と新
年会の写真を載せました。



下諏訪神社にて 61年10月18日



新年会 62年1月24日